

令和最新トレンド!

巧妙な詐欺の見分け方

その

1

JAバンクから
お客さま情報の
確認メールが来た!

メールのリンク先でIDやパスワード、
暗証番号の入力を求められてない?

メールアドレスやリンク先のURLは
本当にJAバンク?

JAバンクを装った詐欺メールをお客さまへ送信し、リンク先より偽サイトに誘導して、ID・パスワード・暗証番号等を盗み取り、不正に送金を行うフィッシング詐欺が発生しています。JAバンクでは、メールやSMSに記載のリンク先でネットバンクのIDやパスワード、暗証番号の入力を求めることはありません。リンク先のサイトにおいて入力を求められても、絶対に入力しないでください。JAバンクをかたる以下のような案内は、すべて詐欺ですのでご注意ください。



- 利用停止のお知らせ
- 緊急停止のご案内
- お客さま情報の確認について
- お取引目的等確認のお願い

SNSで仲良くなった人が
信頼できる投資話を
教えてくれた!

本当に
信用できる人?

必ずもうかる、
あなただけって
言われてない?

SNS等を悪用した投資詐欺や、恋愛感情につけ込むロマンス詐欺が発生しています。SNSの広告やダイレクトメールで著名人や投資家等を名乗り、「絶対にもうかる」「あなただけに特別」といった投資話をもちかけられたら、それは詐欺です。また、SNSやマッチングアプリで親しくなった相手から、「二人の将来のために投資を」「結婚するためにお金が必要」などと頼まれた場合も、詐欺を疑ってください。



警察から

「あなたの口座が
犯罪に利用されている」と
電話があった!

その
2

その人、
本当に警察官?

電話でお金の話を
されてない?



警察官や行政職員等を装い、電話やビデオ通話などで「あなたの口座が犯罪利用されている」、「未納料金があり、支払わないと裁判になる」などと不安をあおり、金銭等をだまし取る詐欺が発生しています。相手が警察官や行政職員であっても、身に覚えのないお金の話が出た場合には詐欺を疑い、最寄りの警察に相談をしてください。以下のような手口が横行していますので、ご注意ください。

● オレオレ詐欺

親族や警察官、弁護士等を装い、「示談金のため今すぐお金が必要」「あなたの口座が犯罪に利用されている」などと不安をあおり、他口座への振込や現金の支払いを通じて金銭をだまし取る手口

● 架空料金請求詐欺

事業者・行政職員を装い、「未納料金の支払い」を名目として電子マネー(プリペイドカード)等の購入を通じて金銭をだまし取る手口

● 還付金詐欺

行政職員を装い、医療費や年金等の還付金があるなどと説明し、申込手続と称してATMを操作させ、実際には犯人側の口座に振込を行うことで金銭を騙し取る手口

大切な資産が奪われないように、詐欺に注意しましょう。

JAバンクでは警察と連携し、金融犯罪撲滅に向けて取り組んでいます



たった1ステップで!

大切な人生の壊れ方

他人に口座を
売ってしまう・
貸してしまう

壊れ方

1



口座の売買・譲渡・レンタルは
「アルバイト」ではなく「犯罪」です。

口座の売買、譲渡や譲受、レンタルはすべて犯罪行為です。特に、口座の売却やレンタルはわずかな報酬に対して、以下のような大きなリスクが伴います。安易な行動があなたの今後の生活や将来に重大な影響を及ぼす可能性がありますので、絶対に行わないでください。

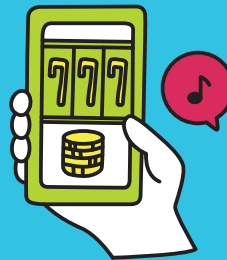
壊れ方

2

オンラインカジノで
遊んでしまう

オンラインカジノは
「遊び」ではなく「犯罪」です。

海外で合法的に運営されているものでも、日本国内から接続して賭博を行うことは犯罪です。パカラ、スロット、スポーツベッティング等、その名称や内容にかかわらず、オンライン上で行われる賭博は犯罪ですので、絶対に利用しないでください。



口座の売買やオンラインカジノに手を出せば **逮捕** される可能性も!!!

さらに、他の金融機関でも口座が凍結され、新規開設ができなくなるなど、あなたの生活にこんな影響が及ぶかも!!!

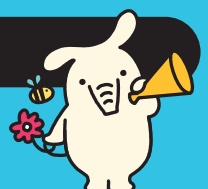
公共料金の引き落としが
できない!!!

給料の受取口座が
作れない!!!

ローンが組めない!!!

軽率な判断で、あなたの大切な人生を壊さないでほしい。

JAバンクでは警察と連携し、金融犯罪撲滅に向けて取り組んでいます



ご協力が必要です!

金融犯罪の減らし方

JAバンクの取り組み

その

1



犯罪者による口座の不正利用やお客さまの詐欺被害を防止するため、日々お客さまの取引状況をモニタリングしています。不審な取引を検知した場合は、被害拡大防止のため、取引に制限をかける、お電話等でご事情を伺うなどの対応を実施しています。

取引のモニタリング

警察との連携

巧妙化する特殊詐欺等からお客さまの大切な資産をお守りするため、警察との連携を強化しています。捜査への協力や各種の情報提供に加え、被害を未然に防ぐための注意喚起や啓発活動等にも積極的に取り組んでいます。

その

2



金融犯罪を減らすためにご利用のお客さまにお願いしたいこと

窓口での確認手続

JAバンクでは、口座開設の際などに法令に基づくご本人さまの確認を行っております。また、盗難通帳や偽造印鑑による不正な払戻し、口座の不正利用を防ぐため、貯金の払戻し時などに改めて確認書類のご提示をお願いしたり、ご利用目的をお伺いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。



郵送書類等による確認手続

JAバンクでは、お客さまの口座が第三者に不正利用されることを防ぎ、安心してお取引いただくために、定期的にハガキや封書を送付してお取引目的等のご確認をさせていただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、お客さまの情報を確認させていただくにあたり、対面でお客さまのキャッシュカードをお預かりすることや暗証番号をお聞きすること、郵送やメールからのご案内を通じてウェブサイトへ誘導し、ネットバンクのIDやパスワード、暗証番号の入力を求めることはございません。JAバンクをかたる上記のような依頼は、すべて詐欺ですのでご注意ください。

すぐにご相談を

相手がだれであるにかかわらず、電話やメールによる次のような内容は詐欺です。何かおかしいと思ったら、すぐにお取引店舗や最寄りの警察までご連絡ください。

「口座が停止されます」
「未払い料金があり裁判になります」
「暗証番号を教えてください」
「キャッシュカードを回収します」
「還付金があるのでATMで操作してください」
「確実にもうかる投資話があります」

お客様へのお声かけ

特殊詐欺等の被害に遭われた方は、ご自身がだまされていることに気づかない場合があります。そのため、新規口座の開設や高額なお取引の際に、お客さまへ取引目的をお伺いするなど、積極的なお声がけを行っています。



JAバンク 公式キャラクター
よりぞう
©よりぞう

協力すれば、金融犯罪は減らせる。

JAバンクでは警察と連携し、金融犯罪撲滅に向けて取り組んでいます